

探訪
文化財
かごしま

探訪
文化財
かごしま



探訪 文化財 かごしま

始良地区

あなたの知らない鹿児島に
あいにくう。



KAGOSHIMA CULTURAL PROPERTY EXPLORATION
IN AIRA & ISA AREA

鹿児島
の歴史好きガール
下豊留佳奈さん
オススメ3コース
全26箇所

はじめに

鹿児島県教育委員会では、本県に所在する文化財の価値を広く国内外に発信し、本県の魅力を伝えるため、文化財をテーマとした周遊モデルコースを設定し、歴史ガイドブック「かごしま文化財探訪」やPR動画を制作しました。

本書は、今年度対象地区とした始良・伊佐地区におけるテーマごとの周遊モデルコースや、その文化財を掲載したものです。令和元年度から令和3年度にかけて、7地区について作成することとしています。

本県は、九州最南端に位置し、その範囲は奄美群島まで南北約600kmにもわたり、各地で様々な文化が育まれ、現在も数多くの文化財が残されています。本書では、県内の一部の文化財を紹介しておりますが、これを糸口として、県内外の多くの方々の本県の文化財に興味を持ち、探訪していただければ幸いです。

令和3年3月
鹿児島県教育委員会

本ガイドブックに紹介させていただいた一部の文化財については、動画でもご覧いただけます。



<https://www.kagoshima-kankou.com/s/movie/53638/>



鹿児島は日本の南端にあり、古くから中国をはじめとするアジア太平洋地域の国々の影響を受けながら特色ある歴史を積み重ねてきました。文化財を探訪することで、鹿児島島の魅力を再発見してみましょ。

始良・伊佐地区では、「島津義弘ゆかりの地コース」、「写真撮影コース」、「土木技術探検コース」の3つのモデルコースを設定しました。

- 島津義弘居館跡石垣 (始良市指定史跡) P9
- 加治木島津屋形跡 (始良市指定史跡) P10
- 朝鮮から持ち帰った手鏡跡 (始良市指定有形文化財 (建造物)) P11
- 朝鮮から持ち帰った石臼 (始良市指定有形文化財 (建造物)) P12
- 島津義久の墓所 (霧島市指定史跡) P13
- 勝栗神社社殿と墓内木社 (霧島市指定有形文化財 (建造物)) P14
- 勝栗神社の仁王像 (霧島市指定有形文化財 (彫刻)) P15
- 松尾城跡 (湧水町指定史跡) P16
- 天堂ヶ尾 関白陣跡 (伊佐市指定史跡) P17
- 新納忠元の墓 (伊佐市指定史跡) P18

- 蒲生御飯屋門 (県指定有形文化財 (建造物)/日本遺産) P21
- 御飯屋犬塚 (始良市指定天然記念物/日本遺産) P22
- 山田の郭旋門 (国登録有形文化財 (建造物)) P23
- 大口筋 (龍門岡坂) (国指定史跡) P24
- 金山橋 (始良市指定有形文化財 (建造物)) P25
- 安良神社 (霧島市指定史跡) P26
- 旧曾木発電所本館 (国登録有形文化財 (建造物)) P27
- 白木神社本殿 附宮殿 (県指定有形文化財 (建造物)) P28

- 君剣神社石橋 (始良市指定有形文化財 (建造物)) P31
- 江夏友賢墓 (始良市指定史跡) P32
- 富隈城跡 (霧島市指定史跡) P33
- 薩摩義士山元八兵衛定矩の墓 (霧島市指定史跡) P34
- 内山田の鼻んす (2連露道) (霧島市指定史跡) P35
- 平熊の石橋及び石洗越(附石洗越の碑) 水神碑 (霧島市指定有形文化財 (建造物)) P36
- 黒島神社石橋 (始良市指定有形文化財 (建造物)) P37
- 水口ゆきえの墓 (始良市指定有形文化財 (建造物)) P38

- その他文化財 P39～
- 季節の見どころ P46～

戦国武将好きにおすすめ!
「島津義弘ゆかりの地コース」



当時の雰囲気をつぶより味わおう!
「写真撮影コース」



先人たちの知恵から学ぶ!
「土木技術探検コース」



その他

1 島津義弘居館跡石垣

始良市鍋倉 776

約 35 分(高速)  

2 加治木島津屋形跡

加治木町仮屋町 213

約 15 分 

3 朝鮮から持ち帰った手洗鉢

始良市加治木町日木山 308-1(精矛神社)

約 5 分  

4 朝鮮から持ち帰った石臼

始良市加治木町日木山 308-1(精矛神社)

5 島津義久の墓所

霧島市国分中央 2-3840-2

約 24 分 

6 勝栗神社社殿と境内末社

始良郡湧水町米永 441

約 36 分  

7 勝栗神社の仁玉像

始良郡湧水町米永 441

8 松尾城跡

始良郡湧水町木場

約 5 分  

9 天堂ヶ尾関白陣跡

伊佐市大口曾木

約 31 分 

10 新納忠元の墓

伊佐市大口原田

約 22 分 



戦国武将好きにおすすめ！

「島津義弘

ゆかりの地コース」

あなたの知らない鹿児島に
あいにいこう。

戦国武将・島津義弘の初陣の地であり晩年を過ごした始良、豊臣
政権時代に拠点としていた湧水、義弘の兄・義久晩年の地・霧島、
有力な家臣ゆかりの地・伊佐。戦国時代好きにはたまらない、
義弘ゆかりの文化財をめぐるコースです。

島津義弘居館跡石垣

しまづよしひろきよかんとあといしがき

加治木島津屋形跡

かじきしまづつけやかたあと



始良市指定史跡

始良市教育委員会から提供

義弘が11年住んでいた地

島津義弘が、文禄4(1595)年から慶長11(1606)年に平松城に移るまで約11年住んでいました。現在、敷地内には稲荷神社があります。大手側から東壁40m、南壁50mの計90mの石垣が市の史跡に指定されています。石は加治木の湯湾岳から切り出されました。大手門は江戸時代に出水に移築され、出水籠の御飯屋門として現在県の有形文化財(建造物)に指定されています(出水小学校正門)。居館は、家老の新納旅庵が監督してつくりました。始良市順成寺墓地にある旅庵の墓も市の史跡に指定されています。

文化財探訪

行ってみてコラム

居館跡から北側にある亀泉院墓地に、島津義弘の駿馬である膝踏躰の墓があります。墓は市の史跡に指定されています。

周辺環境



- お問合せ先
始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町253番地
☎ 0995-62-2111(211)
- 所在地
始良市鶴高 776



始良市指定史跡

始良市教育委員会から提供

義弘が晩年過ごした地

島津義弘が、晩年を過ごした屋形跡です。易学者・江夏友賢が、繻を張り、標を立てて、屋敷の位置を定めました。義弘は、友賢による占筮(吉凶を占うこと)を深く信用していました。城中には東の丸、中の丸、西の丸の3つの御殿があり、義弘は東の丸で過ごしていました(西の丸は、義弘死後に息子・家久が増築)。石垣が残っており、加治木靈国神社境内には「義弘公薨去地碑」が建立されています。

文化財探訪

行ってみてコラム

現在、居館跡には加治木高校や柁城小学校、加治木郷土館があります。加治木郷土館には、義弘に関係する資料を展示しているため、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

周辺環境



- お問合せ先
始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町253番地
☎ 0995-62-2111(211)
- 所在地
加治木町飯屋町 213



3. 朝鮮から持ち帰った手洗鉢

ちようせんからもちかえったちようすばち

始良市指定有形文化財（工芸品）



「文禄・慶長の役」を感じよう

手洗鉢は、「文禄・慶長の役」に陣借として従軍した精窓寺の住職・鳳山和尚が朝鮮より持ち帰ったものといわれています。文禄・慶長の役は、いわゆる「朝鮮出兵」のことです。精矛神社に祀られている島津義弘も参加しました。

朝鮮へ行く時は、船に武器や兵糧がたくさん積んでありますが、帰りは荷物が減って空船に近い状態になってしまいます。そこで、船が不安定になって沈没しないために、手洗鉢が船の底荷として利用されたと考えられます。

文化財探訪 行ってみてコラム

朝鮮から持ち帰った石臼も同じ場所（精矛神社境内）にあります。

● 周辺環境



- お問合せ先
始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地
☎ 0995-62-2111(211)



- 所在地
始良市加治木町日木山 308-1
精矛神社

4. 朝鮮から持ち帰った石臼

ちようせんからもちかえったちようす

始良市指定有形文化財（工芸品）



「文禄・慶長の役」を感じよう

文化財3.朝鮮から持ち帰った手洗鉢と同じく、石臼は、「文禄・慶長の役」に陣借として従軍した精窓寺の住職・鳳山和尚が朝鮮より持ち帰ったものといわれています。朝鮮からの帰途、船が不安定になって沈没しないために、手洗鉢と石臼が船の底荷として利用されたと考えられます。

文化財探訪 行ってみてコラム

精矛神社は大河ドラマ「西郷どん」のロケ地になりました。島津義弘の功績を紹介する「義弘公ゆかりの小径」が整備されています。

● 周辺環境



- お問合せ先
始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地
☎ 0995-62-2111(211)



- 所在地
始良市加治木町日木山 308-1
精矛神社

島津義久の墓所

しまづよしひさのぼしよ

6.

勝栗神社社殿と境内末社

かちくりじんじやしやでんとんけいたいまいっしや



霧島市指定史跡



湧水町指定有形文化財 (建造物)

島津義弘の兄の墓

金剛寺跡の境内に島津氏第16代当主義久の墓があります。慶長16(1611)年、国分で死去した義久の遺体の一部(抜歯といわれる)が国分の龍昌寺に埋葬された後、金剛寺へ移ったものとされています。高さ5m以上ある三重の石塔には「妙谷寺殿貫明存忠庵主」と法名が刻まれています。脇の墓は、廃仏毀釈により神式にしたものようです。

文化財探訪 行ってみてコラム

徳持庵跡(霧島市国分上井5-2)にも義久の墓があります(市指定史跡)。廃仏毀釈で徳持庵が破壊されたため、金襴の袋に納められていた分骨を、明治8(1875)年に埋葬しました。

周辺環境



- お問合せ先
霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市国分中央3丁目45番1号
- ☎ 0995-64-0708
- 所在地
霧島市国分中央2-3840-2



戦国島津ゆかりの神社

正八幡宮(現、鹿児島神社)の分社として創建され、正若宮八幡社と称し、明治9(1870)年に勝栗神社と改称しました。勝栗神社の由来は、島津義弘が詠んだ歌「野も山もみな白旗となりけり 今宵の宿は勝栗の里」から。島津義久(1585年)・義弘(1590年)・家久(1623年)などにより造営・再興された由緒ある神社です。

文化財探訪 行ってみてコラム

勝栗神社の仁王像も一緒に
見ることが出来ます。

周辺環境



- お問合せ先
湧水町教育委員会生涯学習課
鹿児島県始良郡湧水町中津川603番地
- ☎ 0995-75-2142
- 所在地
始良郡湧水町米永441



勝栗神社の仁王像

かちくりじんじやのおうぞう



湧水町指定有形文化財（彫刻）

松尾城跡

まつおじょうあと



湧水町指定史跡

離れ離れになってしまった像

勝栗神社の境内にあった梅中寺の守護として、寛文5(1665)年に建てられた一対の金剛力士像でした。鹿仏殿のため、一体(件の字に口を結んだ像)は損傷を受けています。もう一体(阿の口を開いた像)は、川内川に捨てられたといわれています。よって、現在残っているのは片形像です。阿形像は法界(仏教用語で「万有」の意味)のはじまりを、吽形像は法界の終わりを表していると考えられています。

文化財探訪 行ってみてコラム

勝栗神社は、島津義弘が文禄の役に出陣する際に、戦勝祈願をした場所です。勝負の前に訪ねてみてはどうでしょうか。

周辺環境



- お問合せ先
湧水町教育委員会生涯学習課
鹿児島県長島郡湧水町中津川 603 番地
☎ 0995-75-2142
- 所在地
始良郡湧水町米永 441



島津義弘が住んでいた城跡

松尾城は、島津義弘が天正18(1590)年から文禄4(1595)年までの5年間に城した山城です。文禄の役の際は、この地から朝鮮へ出兵しています。城壁に石垣を持つ珍しい山城であり、本丸の石垣は義弘が太田武備之助(江戸城を築いた太田道灌の子孫といわれる)に命じて築かせたといわれています。本丸跡には、「島津義弘公お手植えの木」があり、その歴史を感じる事ができます。また、松尾城城塞跡から出土したトチン(のぼり葉の葉詰め道具)は、町指定文化財に指定されています。

文化財探訪 行ってみてコラム

「松尾城址」の石碑は、公爵島津忠重公筆。忠重は、島津家第30代当主で貴族院議員を務めました。

周辺環境



- お問合せ先
湧水町教育委員会生涯学習課
鹿児島県長島郡湧水町中津川 603 番地
☎ 0995-75-2142
- 所在地
始良郡湧水町木場



天堂ヶ尾関白陣跡

てんどうがおかんばんくじんあと



伊佐市指定史跡

新納忠元の墓

にいろただもとのほか



伊佐市指定史跡

豊臣秀吉の陣跡

天正15(1587)年5月26日、島津と和睦を果たした豊臣秀吉が、大口城主の新納忠元を引見した陣跡です。大口盆地が一望できるこの地は、陣営として最適だったと考えられます。秀吉から「まだ敵対するか」と問われた忠元は、「主人(島津義久)さへ許せば幾度でも敵対しましょう」と答えました。また、秀吉の「口あたりに鈴虫ぞ鳴く」という下の句に対し、即座に「上臈をちんちるりんとひねりあげ」という上の句をつけ、秀吉を感嘆させました。

文化財探訪

行ってみてコラム

石碑「新納武蔵守忠元碑」の字は、東郷平八郎筆。東郷は碑銘をお願いされた際、薩摩の地を踏みにじった豊臣秀吉は好まないからと断ったという逸話が残っています。

周辺環境



お問合せ先

伊佐市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県伊佐市愛刈前目 2106

☎0995-23-1311

所在地

伊佐市大口曾木



大口ゆかりの偉人の墓

新納忠元は、44歳で大口地頭に着任し、以来40年近く大口を治め、慶長15(1610)年12月9日に85歳で死去しました。子弟教育のための規律「二才階格式定目」をつくるなど、多くの人から慕われ、忠元の死に際して皆悲しみ、多くが殉死を願いました。しかし、許されたのは伊地知又十郎と宮竹休兵衛の2人だけであり、指を切って殉葬した人が50人ほどいたといえます。忠元と忠元の妻とともに、2人の殉死者も葬られています。

文化財探訪

行ってみてコラム

新納家墓地(泉徳寺跡)は、市の史跡に指定されています。また、忠元が祀られている忠元神社は忠元公園内にあります。

周辺環境



お問合せ先

伊佐市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県伊佐市愛刈前目 2106

☎0995-23-1311

所在地

鹿児島県伊佐市大口原田



JR 鹿児島中央駅 発

- 1 **蒲生御仮屋門**
始良市蒲生町上久徳 2399 (始良市役所蒲生総合支所)  約 34分(高速) 
- 2 **御仮屋犬槇**
始良市蒲生町上久徳 2399 (始良市役所蒲生総合支所) 
- 3 **山田の凱旋門**
始良市下名 1178  約 8分 
- 4 **大口筋 (龍門司坂)**
始良市加治木町木田 5088-1  約 25分 
- 5 **金山橋**
始良市加治木町小山田 34-1  約 4分 
- 6 **安良神社**
霧島市横川町上ノ164  約 32分 
- 7 **旧曾木発電所本館**
伊佐市大口宮人  約 36分 
- 8 **白木神社本殿 附宮殿**
伊佐市白木 813  約 14分 

JR 鹿児島中央駅 着  約 1時間 20分(高速)



当時の雰囲気をたっぷり味わおう！

「写真撮影コース」

あなたの知らない鹿児島は
あいにいこう。

文化財の中には、思わず写真を撮りたくなってしまふようなスポットもあります。そんな写真映えしそうな文化財をめぐるコースです。当時の雰囲気を味わい、こだわりの写真を撮影することも文化財のひとつの楽しみ方ではないでしょうか。

1. 蒲生御仮屋門

かもろうおかりやもん

2. 御仮屋犬槿

おかりやいぬまき



県指定有形文化財(建造物) 日本遺産

始良市教育委員会から提供

お殿様も通った門

蒲生御仮屋門は、蒲生郷地頭仮屋の正門です。御仮屋とは、地域の行政や軍事をつかさどる現在の役所のようなところです。棟札によると、文政9(1826)年に造られたものであり、門は当時の面影を残しています。薩摩藩10代藩主島津斉賢や11代斉彬が、領内巡検の際に御仮屋に宿泊しています。

文化財探訪 行ってみてコラム

御仮屋犬槿も同じ場所にあります。

周辺環境



お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町253番地

☎ 0995-62-2111(211)

所在地

始良市蒲生町上久徳2399
始良市役所蒲生総合支所



始良市指定天然記念物 日本遺産

庭木として植えられた犬槿

犬槿は鹿児島では一ツ葉と呼ばれ、武家屋敷の生垣によく利用されました。御仮屋犬槿は、御仮屋の表庭に植えられていたもので、樹齢は約400年、高さは約10mあり、幹内は空洞化しています。御仮屋の周囲には麓集落が形成されました。蒲生藩は、日本遺産(「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～」)に認定されています。

文化財探訪 行ってみてコラム

近くにある蒲生八幡神社内には、国の特別天然記念物に指定されている蒲生のクスギがあります。

周辺環境



お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町253番地

☎ 0995-62-2111(211)

所在地

始良市蒲生町上久徳2399
始良市役所蒲生総合支所



山田の凱旋門

やまだのがいせんもん



国登録有形文化財(建造物)

日露戦争時のモニュメント

明治39(1906)年3月、日露戦争に当時の山田村から従軍した人たちの無事な帰国を記念して、山田村兵士会が建設しました。門柱の間にアーチを架けた石造りの凱旋門は、石橋技術を応用したものです。上名の池平(現・始良市)から切り出したといわれる凝灰岩を15段に積み、門の高さは4.7m、幅は4.9mあります。石工は細山田ケサグマという人だったといわれています。小規模ながら日本では類例が少なく、極めて貴重な建造物であると評価されています。

文化財探訪
行ってみてコラム

「凱旋門」の字は、大久保利通の従弟の大久保利貞(陸軍中将)の揮毫によるもの。利貞は、霧島神宮(国指定有形文化財)の宮司も務めました。

● 周辺環境



● お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町253番地

☎ 0995-62-2111(211)

● 所在地

始良市下名1178



大口筋(龍門司坂)

おおくちすじ・たつもんじざか



国指定史跡

今に残る江戸期の主要街道

大口筋は、鹿児島城下から吉田、始良、加治木、溝辺、横川、栗野、豊刈から大口へと至る道のことです。大名行列や物資の搬出などに利用されました。大口筋の日廻坂も国の史跡に指定されています。龍門司坂は、寛永12(1695)年に造られ、元文6(1741)年ごろに石畳へと整備されました。坂の名前は、近くにあった龍門寺という寺の名前に由来するといわれています。明治10(1877)年の西南戦争では、薩軍が龍門司坂を通過して熊本方面を目指しました。

文化財探訪
行ってみてコラム

大河ドラマ「翔ぶが如く」「篤姫」「龍馬伝」「西郷どん」のロケ地になりました。

● 周辺環境



● お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町253番地

☎ 0995-62-2111(211)

● 所在地

始良市加治木町
木田5088-1

金山橋

きんざんばし

始良市指定有形文化財(建造物)



山ヶ野金山に続く橋

島津家が山ヶ野金山への物資を運搬するために道路を開いた際に架けた橋です。山ヶ野金山は、霧島市とさつま町の境付近にあった金及び銀の鉱山です。佐渡金山と並び日本最大の産金を誇る金山で、西郷菊次郎が鉱業館長を務めていたこともありました。加治木町の金山橋(第一橋)とともに、瀧辺町有川の金山橋(第二橋)、上牟田の金山橋(第三橋)と三つの橋が架けられました。第三橋は、霧島市の有形文化財に指定されています。

文化財探訪 行ってみてコラム

金山橋の上手にある滝は、板井手滝です。橋のアーチ部分と重なり、美しい景色を作り出しています。

周辺環境



お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町253番地

☎ 0995-62-2111(211)

所在地

始良市加治木町小山田 34-1



安良神社

やすらじんじや

霧島市指定史跡



悲しい逸話の残る神社

鹿兒島神宮、霧島神宮、加治木春日神社、福山宮浦神社とともに、大隅五社のひとつとして尊ばれてきました。和銅元(708)年に安良岳の絶頂に創建され、その後現在の地に祭祀されています。御祭神は安良姫命で、安良姫は京の都の官女でした。高貴な方の大事な衣を川に流したことで火あぶりの刑にされようとしていた時、観世音から「西の涯まで落ちのびよ」とお告げを受けました。お告げ通り身を隠していましたが、安良岳の頂上で自害してしまい、村人たちが宮を建てて霊を祀りました。

文化財探訪

行ってみてコラム

霧島市立横川郷土館で展示されている版面は、県の有形民俗文化財に指定されています。

周辺環境



お問合せ先

霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号

☎ 0995-64-0708

所在地

霧島市横川町上ノ164



旧曾木発電所本館

きゅうそぎはつでんしよほんかん



国登録有形文化財(建造物)

電気化学工業発祥の旧水力発電所施設

曾木発電所は、明治42(1909)年に、日窒コンツェルンの創始者の野口暲により建設された水力発電所です。旧曾木発電所本館は、発電棟とそれに直交する事務棟からなり、九州南部の大規模煉瓦建築としては初期のものです。初めは、大口の鉱山会社に電力を供給していましたが、余った分を水俣のカーバイド工場へ供給するようになりました。近代化産業遺産としても貴重な遺構です。普段は鶴田ダムがつくる大鶴湖に沈んでいますが、洪水に備えて貯水池を下げる5～9月にその全貌を確認することができます。

文化財探訪

行ってみてコラム

水位によって見え方が変わるため、時期を変えて見学してみてもどうでしょうか。毎回違う発見があると思います。

周辺環境



お問合せ先

伊佐市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県伊佐市愛川前目 2106

☎ 0995-23-1311

所在地

伊佐市大口宮人



白木神社本殿 附宮殿

しらぎんじやほんでん つけたりくうでん



県指定有形文化財(建造物)

茅葺が目をひく室町時代の建造物

茅葺の建物は、応永15(1408)年に白木山長福寺の観音堂として建てられ、廃仏毀釈を逃れるために白木神社と名づけられました。入口には破壊された仁王像が建てられています。修理を繰り返した後補も多いですが、屋根の軒を支える斗拱の形式など旧態を残している部分もあり、中世建築の風景を残す貴重な建造物として評価されています。宮殿に安置されている白木観音像は県の有形文化財に指定されており、毎年元旦と7月の大祭に開帳されその姿を拝見することができます。

文化財探訪

行ってみてコラム

白木観音は産婦の観音として、詣でると安産で美女を授かるといわれています。

周辺環境



お問合せ先














伊佐市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県伊佐市愛川前目 2106

☎ 0995-23-1311

所在地

伊佐市白木 813



- 1 **岩剣神社石橋**
始良市平松 5295-5
約 33分  
- 2 **江夏友賢墓**
始良市加治木町木田 4001-3
約 16分  
- 3 **富隈城跡**
霧島市隼人町住吉 1879-4
高速 14分または一般道 20分
  
- 4 **薩摩義士山元八兵衛定矩の墓**
霧島市隼人町住吉 1513
約 6分 
- 5 **内山田の鼻んす(2連隧道)**
霧島市隼人町内山田 1720
約 11分 
- 6 **平熊の石橋及び石洗越附石洗越の碑 水神碑**
霧島市隼人町松永字平熊
約 13分 
- 7 **黒島神社石橋**
始良市上名 621-4
約 35分  
- 8 **水口ゆきえの墓**
始良市中津野 329 (中津野公民館)
約 14分  



先人たちの知恵から学ぶ！

「土木技術 探検コース」

あなたの知らない鹿児島
あいにいこう。

人々の命を守り、生活を支える土木。土木技術の発展には、私たちの想像を絶する名もなき土木技術者たちの努力があったことでしょう。そんな土木に関連する文化財を集めました。理系の方にも楽しんでいただけるコース設定です。

岩剣神社石橋

いわつるぎじんじやいしばし

2.

江夏友賢墓

こうかゆうけんはか



始良市指定有形文化財 (建造物)

始良市教育委員会から提供



始良市指定史跡

始良市教育委員会から提供

玉江橋と同年に架けられたア一チ橋

嘉永2(1849)年8月に岩剣神社境内前を流れる川(狩川)に架けられた石橋です。鹿児島城下に肥後の石工・岩永三五郎によって架けられた五大石橋のうち、最後に完成した玉江橋と同じ年に架けられました。長さ4.66m、幅2.16mあります。島津義弘は平松在城の頃に岩剣神社をしばしば参詣して神舞を奉納しています。平松城跡は、現在の始良市立重富小学校で、市の史跡に指定されています。

文化財探訪

行ってみてコラム

平成5年の8月豪雨で被災し、石橋の一部が破損・流出しましたが修復されました。

周辺環境



お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町253番地

☎ 0995-62-2111(211)

所在地

始良市平松 5295-5



吉凶を占う易学者の墓

江夏友賢は、島津義弘に仕えた明の易学者です。義弘は、友賢より易学の講義を受け、事に当たって占いをさせ重く用いていました。初代藩主島津家久からも信頼され、鹿児島城(鶴丸城)築城の際は、土地の良し悪しを占い、縄張りをしました。同じく、国分城(舞鶴城)や加治木の屋形も友賢が縄張りをしています。豊臣秀吉からも家来にしたいといわれ、朝廷でも有名になるほどの人物でした。

文化財探訪

行ってみてコラム

亀の形をした独特の墓石は、「亀跌牌」とよばれるものです。中国から伝わってきたもので、日本では大名家の墓で見られます。

周辺環境



お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町253番地

☎ 0995-62-2111(211)

所在地

始良市加治木町
木田 4001-3



富隈城跡

とみくまじょうあと



霧島市指定史跡

霧島市指定史跡

島津義久が住んでいた城跡

島津家第16代当主の島津義久が、豊臣秀吉の九州征伐で降伏した後に住まいとした城跡です。城郭の周囲は野面積み(自然の石岩をそのまま積み上げる方法)の石垣が残り、城内には、稻荷神社が祀られています。城郭は、東西約150m、南北約248mです。富隈城近くの浜之市は、鹿児島湾の奥地に位置しており風水害の影響が少ないだけでなく、交通・交易の港口でもあり、好条件の場所であったと考えられます。

文化財探訪 行ってみてコラム

富隈城の発掘調査では、中国製の青磁・白磁・青花などが出土しています。交易が盛んであったことが分かります。

周辺環境



- お問合せ先
霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市国分中央3丁目45番1号
☎ 0995-64-0708
- 所在地
霧島市隼人町住吉1879-4



薩摩義士山元八兵衛定矩の墓

さつまぎしやまもとほちべえさだのりのはか



霧島市指定史跡

宝曆治水工事を行った薩摩藩士の墓

宝暦4(1754)年、幕府が薩摩に命じた木曾三川(木曾川・長良川・揖斐川)の治水工事に参加した、山元八兵衛の墓です。家老の平田鞆負を総奉行として行われた難工事でした。山元は、勅定方として出仕したといわれており、宝暦4年11月21日に切腹して亡くなっています。山元の墓は、三重県桑名市の曹洞宗海蔵寺に同じく切腹した仲間とともにお墓が立てられています。この住吉墓地の墓は、山元家一族のもので、遷葬など持ち帰って建てられたものとされています。

文化財探訪 行ってみてコラム

海蔵寺の薩摩義士墓所は、三重県桑名市の史跡に文化財指定されています。

周辺環境

- お問合せ先
霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市国分中央3丁目45番1号
☎ 0995-64-0708
- 所在地
霧島市隼人町住吉1513



5. 内山田の鼻んす(2連隧道)

うちやまだのはなんす にれんずいどう



霧島市指定史跡

見た目も名称も面白い2連隧道

宮内原用水を通すためにつくられた二連の隧道(トンネル)です。二連にしたのは、分けて水を流すことで、トンネルの強度を保つためと考えられます。宮内原用水は、今から約300年前の正徳元(1711)年に起工し、正徳6(1716)年に完成しました。鼻んすもこの際に開通したのと思われまます。平成14(2002)年に道路が通り、一部削られましたたが消滅をまぬがれました。

文化財探訪 行ってみてコラム

トンネルの形が鼻の穴に似ていることから、鹿児島弁で「鼻んす」と呼ばれています。

● 周辺環境



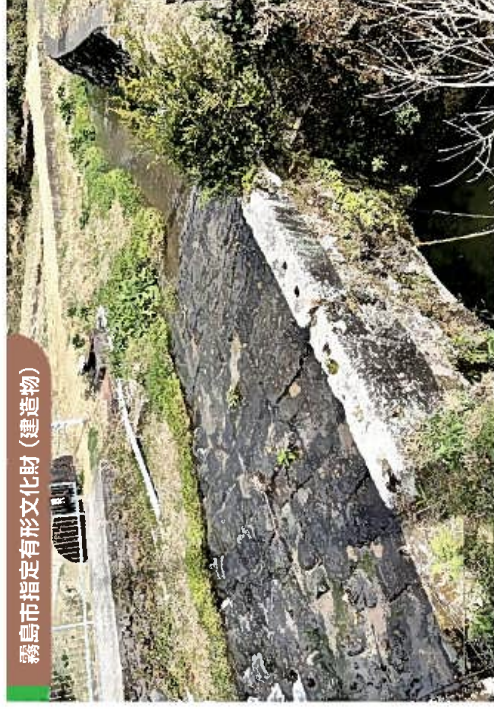
- お問合せ先
霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号
☎ 0995-64-0708
- 所在地
霧島市隼人町内山田1720



6.

平熊の石橋及び石洗越附石洗越の碑・水神碑

ひらくまのいしはしばしばよびいしあらいごしつかけたりいしあらいごしのひ・すいじんひ



霧島市指定有形文化財(建造物)

災害防止用のアーチ橋

平熊の石橋は、松永用水に架かる石橋です。松永用水は、東麓山で水を引き、水路延長約3里(約12km)ありました。人が渡る石橋ではなく、山から流れ出た谷川水を越させるための石橋といえます。地元の人たちは、松永用水に流れ込んでいた谷川水が、大雨の時には溢れて用水路を決壊させるので、用水路を越す形に改造したものだと言われています。

文化財探訪 行ってみてコラム

近くの石洗越の碑は安永6(1777)年、水神碑は宝暦11(1761)年と彫られています。この時期に石橋が作られたと考えられます。

● 周辺環境



- お問合せ先
霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号
☎ 0995-64-0708
- 所在地
霧島市隼人町松泳字平熊



黒島神社石橋

くろしまじんじやいしばし



始良市指定有形文化財 (建造物)

始良市教育委員会から提供

珍しい逆V字状の石橋

肥後の石工・若永三五郎が、幕末に鹿兒島城下の甲突川へ五石橋（玉江橋、新上橋、西田橋、高麗橋、武之橋）を架ける以前、天明4（1784）年に黒島神社境内の川に架けた石橋です。長さ6.1m、全幅2.8m、高さ4.36mあります。アーチ式ではなく逆V字状に切石を積み上げていることが特徴であり、石橋技術の系譜上貴重なものです。黒島神社は山田の旧郷社です。

文化財探訪

行ってみてコラム

黒島神社のお田植え祭りは、市の無形民俗文化財に指定されており、田作りの神事やカギ引き、棒踊りを奉納します。

周辺環境



お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地

☎ 0995-62-2111(211)

所在地

始良市上名 621-4



水口ゆきえの墓

みずぐちゆきえのはか



始良市指定有形文化財 (建造物)

始良市教育委員会から提供

難工事に立ち向かった少女の墓

中津野に用水路を開いた少女・水口ゆきえの墓です。山田川から用水路を開けば水利の悪い中津野まで水が引けると考え、大人たちを説得して工事をはじめました。農繁期には一人で工事を進め、宝暦2（1752）年に約4kmの用水路を完成させました。しかし、あまりにも利発で将来未恐ろしい娘だという危惧から、用水路完成後にゆきえは山中で殺害されたといわれています。同年12月に水口邸に石祠がつくられ、平成25（2013）年に現在地の中津野公民館へ移されました。

文化財探訪

行ってみてコラム

井堰の水路取水口には記念碑が立てられています（始良市下名）。

周辺環境



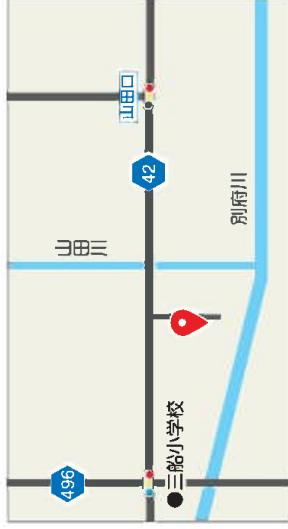
お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地

☎ 0995-62-2111(211)

所在地

始良市中津野 329
中津野公民館





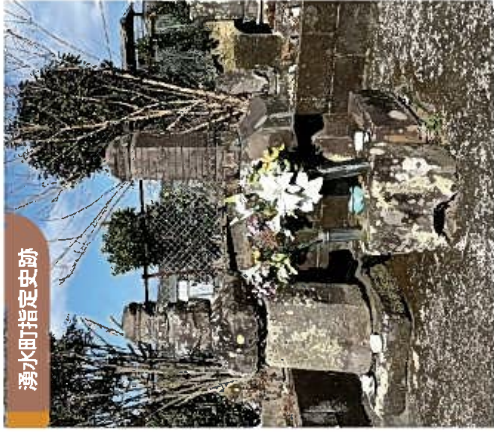
「その他文化財」

あなたの知らない鹿島に
あいにいこう。

他にも魅力的な文化財が数多く残されています。特に、地域に伝わる祭りや伝統芸能、植物などは楽しめる時期が決まっています。春夏秋冬、四季を感じながら文化財巡りをすることもオススメです。何度でも足を運んでください。

島津久四郎・松下源次郎の墓

しまづきゆうしろう・まつしたげんじろうのはか



湧水町指定史跡

島津義弘の息子のお墓

福城山徳元寺跡に、島津義弘の5男・島津久四郎とお側小姓の松下源次郎の墓があります。久四郎は、文禄4(1595)年7月4日に享年14歳で病死しました。2年前に、2男の久保が文禄の役で朝鮮に出陣中病死したばかりであり、息子の立て続けの死に義弘夫人は深く嘆き悲しんだようです。久四郎のお側小姓であった松下源四郎は、殉死をして若君の後を追いました。2人の墓石は寄り添うように並んでいます。

- お問合せ先
湧水町教育委員会生涯学習課
鹿島島嶼始島郡湧水町中津川1603番地
☎ 0995-75-2142
- 所在地
始良郡湧水町木場



西南の役高熊山激戦地跡

せいなんのえきたかまくまきげせんちあと



伊佐市指定史跡

西南戦争の激戦地

明治10(1877)年の西南戦争で、高熊山には池辺吉十郎率いる熊本隊が、向かいの坊主石山には辺見十郎太率いる薩摩隊が陣地を構え、官軍と激戦となった場所です。壘壕跡や、巨石にたぐさんの弾痕が残っています。発掘調査では、銃弾や薬さょうが発見されました。「辺見十郎太、池辺吉十郎激戦之地」の記念碑や、「西南の役慰霊之碑」も立っています。

- お問合せ先
伊佐市教育委員会社会教育課文化財係
鹿島島嶼伊佐市荻刈前田2106
☎ 0995-23-1311
- 所在地
伊佐市大口牛尾



隼人塚

大正時代に指定された国史跡

はやとづか



国指定史跡

【古事記】、「日本書紀」、「風土記」などに記載されている古代南九州に住んでいた熊襲・隼人の反乱に因んだ史跡として指定されています。大和朝廷に反抗した熊襲・隼人の霊を供養するために建てられたといわれていますが、目的をはっきり記した史料は見えていません。発掘調査により建蓮年代は平安時代であると考えられています。古くは菩提寺の塚、軍神家などと呼ばれていましたが、明治時代に鹿児島神宮の神官が「隼人塚、一名熊襲塚」と命名し、隼人塚と呼ばれるようになりました。

● お問合せ先

霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市区分中央三丁目45番1号

☎ 0995-64-0708

● 所在地

霧島市隼人町内山田 265-3



霧島民芸村

国により建設された戦時下の教育施設

きりしまみんげいむら



県指定有形文化財（建造物）

寝殿造りを規範とした木造建築で、昭和15（1940）年に建築されました。戦時下の教育に対応するため、中堅指導者の再教育をする場として、天孫降臨の神話と関係する霧島神宮の近くに建てられたと考えられます。展示棟充棟は、県内最大級の木造建築です。旧遥拝殿は、昭和天皇より下賜されたと伝えられる二本の床柱を据えています。工房棟は、当時宿泊所として使われたもので、全国から研修に臨んだ人が寝泊まりしていました。

● お問合せ先

霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市区分中央三丁目45番1号

☎ 0995-64-0708

● 所在地

霧島市霧島田口2458



旧田中家別邸 附 棟札一枚

約3年かけてつくられた別邸

きゅうたなかかけべつてい つけたり わなふだいちまい



県指定有形文化財（建造物）

旧田中家別邸は、福山町出身で関西財界の重鎮・田中晋三が建造し、大正11（1922）年に完成しました。屋根裏に、上棟式がおこなわれた際に掲げた棟札があります。棟札から石工は地元で対応し、大工棟梁は大塚から呼んでいことが分かります。伝統的な和風住宅を基本としながら洋間が融合されており、大正時代の建造物の特徴をよく表しています。桜島のそむ庭園は市の名勝として指定されています。田中は、私立福山中学校を創立して地元の教育に貢献しています。

● お問合せ先

霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市区分中央三丁目45番1号

☎ 0995-64-0708

● 所在地

霧島市福山町福山2926



JR 肥薩線大隅横川駅駅舎

現役の木造駅舎

ジェイアールひさつせんおおすみよこがわえきえきしや



国登録有形文化財（建造物）

駅舎は、明治36（1903）年に建造されました。同じく登録有形文化財に登録されているJR肥薩線霧列川駅舎とともに県内最古の木造駅舎です。国士の歴史的景観に寄与しているものとして評価されています。駅ホームには、第2次世界大戦中に機銃掃射の弾が貫通した柱が残っており、戦争の悲惨さを伝えていきます。無人駅ではありますが、現在も九州旅客鉄道（JR九州）の肥薩線の駅として利用されています。

● お問合せ先

霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市区分中央三丁目45番1号

☎ 0995-64-0708

● 所在地

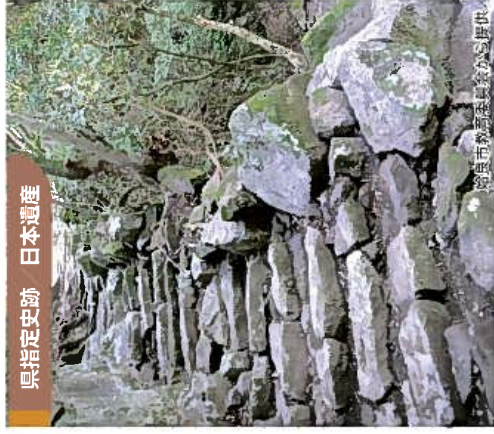
霧島市横川町中ノ39-1



掛橋坂

かけはしざか

江戸時代に生活を支えた地方街道



県指定史跡 日本遺産

掛橋坂は、江戸時代に瀬川田沼参院方面と蒲生を結ぶ地方街道として利用されました。道幅が狭く、危険な坂道の道「榎の木を渡して作る道」が「掛橋」の由来と考えられます。基礎層の石を削ってつくった石段や、切り石を敷き詰めてつくった石段が特徴です。また、新橋防止のために道脇に石が積まれている。難所だったことがうかがえます。この坂を運って、陸佐郷におかれた藩の蔵まで毎年貢米が輸送されていました。

● お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地

☎ 0995-62-2111 (211)

● 所在地

始良市蒲生町北 1006



岩剣城跡

いわつづるぎじょうあと

三方が断崖「天然の要塞」



始良市指定史跡

享禄2(1529)年頃に築城された山城です。標高は220.7mで、山頂部の3,954㎡が市の史跡に指定されています。天文23(1554)年の岩剣城の戦いで、義弘は華々しく初陣を飾りました。その後、義弘は岩剣城の城代を任され、山麓に館を築いて3年間在城しました。山は「剣の平」とも呼ばれています。岩剣神社横の林道を進み、登山口から頂上を目指してみてください。曲輪や土塁、空堀が残っています。

● お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地

☎ 0995-62-2111 (211)

● 所在地

始良市平松 52196



橋木城跡供養塔・十三仏

たちばなぎじょうあとくようとう・じゅうさんぶつ

移設保存された供養塔



霧島市指定有形文化財 (歴史資料)

霧島市教育委員会から提供

重久の橋木城(西ノ城跡)には石塔類が多数残存していますが、昭和50年頃の観光開発により多数が壊されたか埋められたりしています。かろうじて2基の供養塔が難を逃れ残っています。時宗の僧侶の法名が刻まれているため、橋木城の武士たちは時宗を信仰していたと考えられます。十三仏は、死者のため追善供養の法事を営むとき初七日から三十三年忌まで、十三回の年忌ごとに配される仏のことです。「永正十一年」(1514年)と刻まれており、貞徳皇后古墳のものと考えられます。普通十三仏塔は一つの石牌に十三の仏種子を配していますが、匝々の石牌に仏を施しているものは例が少なく貴重です。

● お問合せ先

霧島市教育委員会社会教育課文化財グループ
鹿児島県霧島市区分中央三丁目 45 番 1 号

☎ 0995-64-0708

● 所在地

霧島市区分上小川 3819



竜ヶ城磨崖一千梵字仏蹟

りゅうがじょうまがよいっせんぼんじぶつせき



始良市指定史跡

始良市教育委員会から提供

中世の豪族蒲生氏の居城跡竜ヶ城(蒲生城)の岩壁に、1700字に及び梵字が約120mにわたり刻まれています。梵字の数、規模において非常に珍しいものです。中には、文字を人像化して不動明王としたものや、素朴な彫りの仏尊、地藏菩薩、大黒天、五輪塔などの彫像もあります。梵字は漢字の影り(文字を刻んだ部分のくぼみがV字になる影り方)で刻まれています。古くから、出陣や出産の祈りの場とされてきたようです。

● お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地

☎ 0995-62-2111 (211)

● 所在地

始良市蒲生町下久徳 2562-1



龍門司焼古窯

りゅうもんじやきこよう

龍門司焼の原点



県指定史跡

始良市教育委員会から提供

山元焼右衛門が享保3(1718)年頃に築いたとされています。古窯は、連房式登り窯(焼成室を斜面に複数連ねた窯)です。最盛期は12室の焼成室があり、昭和30(1955)年に廃窯になるまで利用されていました。古窯の上には荒神宮(窯の神で氏神様)があります。薩摩焼は、平成14(2002)年に国の伝統的工芸品に指定されました。

● お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地

☎ 0995-62-2111 (211)

● 所在地

始良市加治木町小山田 6095



南浦文之墓

なんぽぶんしのはか

島津義弘にも仕えた住職の墓



国指定史跡

始良市教育委員会から提供

南浦文之は、弘治元(1555)年に日向国肥前郷の外浦に生まれ、13歳の時に串間の電源寺に入り禪(臨済宗)と儒学を修めました。のちに識見が認められ、島津家16代当主義久、17代義弘、18代家久と仕え、政治・外交・文教の顧問として活躍しました。また、漢文に返り点をつけて読ませるように施した訓点「文之点」を考案しました。鉄砲伝来の時の様子を史料や伝承に基づき著した『鉄炮記』も残しました。

● お問合せ先

始良市教育委員会社会教育課文化財係
鹿児島県始良市加治木町本町 253 番地

☎ 0995-62-2111 (211)

● 所在地

始良市加治木町反土 1814



季節の見どころ

春

霧島神宮のお田植祭り

きりしまじんぐうのおのうえまつり



県指定無形民俗文化財(霧島市)

霧島市教育委員会から提供

約300年前から引き継がれる祭り

境内を田にみたて耕し、カシキ(緑肥)を入れ、種まきや田植までを模擬的にを行い、五穀豊穡を祈る春祭りです。祭りの終わりに独特の田の神舞が舞われますが、これは県内の田の神舞の原型を示すものです。祭りに登場する牛面に宝永3(1706)年、翁面に宝永9(1712)年、媼面に明和9(1772)年と年代が記されており、古くから行われていることが分かります。毎年、旧暦の2月4日に霧島神宮に奉納されます。

春

ヒガンザクラ自生南限地

ひがんざくらじせいなげんち

春の彼岸頃に咲く美しい桜



国指定天然記念物(湧水町)

伊弉諾神社から提供

大正元(1912)年に発見され、ヒガンザクラの自生南限地と指定されました。正しくはエドヒガンと呼ばれるものであることが判明しています。しかし、エドヒガンの自生南限地であることに変わりはありません。毎年3月下旬頃、淡いピンク色の花を咲かせます。吉松川添の栗野岳中腰の国有林内に自生しています。

春

佳例川の藤

小学生を見守っていた藤

かれいがわのふじ



霧島市指定天然記念物

霧島市教育委員会から提供

佳例川小学校跡地にある藤です。毎年5月頃になると、うす紫色で蝶形の花ひらが潮からしだたり落ちるように咲き乱れます。幹の周りは1.15mあり、樹齢100年ほどと言われています。佳例川地域で最も大きい藤です。

夏

四部落太鼓踊り

元気で躍動感のある舞

しづらくたいこおどり



湧水町指定無形民俗文化財

四部落太鼓を民衆から伝承

湧水町吉松の、陣前・堀之原・市原・松山の四つの集落に伝承されている太鼓踊りです。五穀豊穡を祈願する雨乞いの踊りとされ、旧暦の7月27日、南方神社の正祭の日に氏子により踊られ奉納されます。太鼓が胸元高くつり上がっていることが特徴ですが、これは跳躍が激しいため、足が太鼓に当たるとを防ぐためです。現在は、毎年8月27日直近の日曜日に奉納されています。

夏

栗野町ハナシヨウブ自生南限地帯

古くから咲き続けている花

くりのちようばなしょうぶじせいなげんちんたい



国指定天然記念物(湧水町)

昭和戦前の自然を今も伝承

ノハナシヨウブは、アヤメ科の多年生植物です。湧水町(旧栗野町)の三ヶ月池(三日月池)一帯の湿地帯が自生の南限地とされています。高さ60~80cmほどで群生し、花は5月下旬から6月中旬にかけて開きます。江戸時代後期に書かれた地理書にも「溪藻(ハナシヨウブ)が多く咲いていることが書かれており、古くから親しまれてきたものであることが分かります。

夏

吉左右踊り・太鼓踊り

きそおどり・たいこおどり

県指定無形民俗文化財(始良市)



始良市教育委員会から提供

太鼓踊りは各地に伝わっていますが、吉左右踊りは加治木西別府のみ伝承されています。白赤2匹の狐に扮した者(ドラ打ちという)は、島津軍が朝鮮に出陣した際に山奥で道に迷い困窮していたところを、白赤2匹の狐が道案内をして勝利に導いたという伝説によるものといわれています。踊子も島津軍と朝鮮軍の二隊に分かれています。旧暦の7月16、17日両日行われていましたが、現在は新暦の8月16日に行われています。

秋

帖佐八幡神社浜下り

鎌倉時代から続く伝統行事

ちようさはちまんじんじゃはまくだり



始良市指定無形民俗文化財

始良市指定無形民俗文化財

帖佐の領主となった京都石清水八幡宮の神官・平山了清は、苦勞して船で帖佐松原へたどり着きました。そして、先祖の辛苦を忘れないため、松原の御門神社まで八幡神社の神霊を乗せた神輿の巡行を行う神事が行われました。平山氏没落後途絶えていましたが、島津義弘が関ヶ原の戦い後、無事に帰国できた御礼として再興しました。その後、再び途絶えたこともありましたが、再興し現在まで続いています。毎年11月に行われます。

秋

菱刈町湯之尾神社神舞

毎年拝見できる神舞

ひしかりちようゆのおじんじやかんまい



県指定無形民俗文化財(伊佐市)

伊佐市教育委員会から提供

岩戸神楽系で、舞庭を清める舞い、無病息災と国土安穩を祈願する舞い、神話または説話的要素をもつ演劇的な舞いで構成されています。神舞の種目は35番でしたが、継承されているのは26番であり、舞の数が多いことが特徴です。また、茶が13曲も伝承されていることも評価されています。毎年、11月23日の湯之尾秋祭りでも公開されます。寛延4(1751)年の「神舞古文書」から、古い歴史をもつ神舞であることが確認されています。

秋

福山のイチヨウ

ふくやまのいちよう

県指定天然記念物(霧島市)



霧島市教育委員会から提供

樹齢1000年以上(大きざからいうと樹齢600年ほど)といわれる2本の銀杏の木は、高さは約38m、根回りは約10mで、大きざは日本では中級程度ですが、県下では最大で由緒ある樹です。社殿に向かって右側の樹には寛政3(1791)年の大火による焦げ跡が、左側の樹には明治10(1877)年の西南戦争で錦江湾沖から政府軍の砲撃を受けた弾痕が残っています。

季節の見どころ

冬

十八日の馬

初午祭「鈴かけ馬踊り」

じゅうはちにちのうま



霧島市指定無形民俗文化財

五穀豊穡や家内安全、畜産奨励、厄払いなどを祈願するお祭りです。毎年旧暦1月18日を過ぎた最初の日曜日におこなわれます。鈴の飾りをつけた約20頭の馬と、約2000人の踊り手が踊りを奉納します。由来は2説あり、島津家15代当主貴久が馬頭観音から「お堂を立てて祀ってくれたらこの国を守護しよう」といわれた夢を見た説。もう1説は、御神馬を預かっていた木田の人々が成長した馬を神宮におさめる際、馬を美しく飾っていたという説です。

<参考文献一覧>

- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財誌 年報 第8集」(S36)
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第13集」(S41)
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第38集」(H4)
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第48集」(H14)
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第52集」(H18)
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第53集」(H19)
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第63集」(H19)
- 新日本新聞社「鹿児島文化財」(S35)
- 櫻川町教育委員会「櫻川町郷土史」(S44)
- 函分市教育委員会「郷土の史跡遺跡」(S45)
- 南九州郷土研究会「大口市の文化財」(S47)
- 大口市郷土誌編さん委員会「大口市郷土誌 下巻」(S53)
- 蒲生郷土誌編さん委員会「蒲生郷土誌」(H3)
- 牧園町郷土誌編さん委員会「牧園郷土誌」(H3)
- 山田勇「鹿児島県郷土問答集」(H5)
- 吉都郷土誌編さん委員会「吉都郷土誌」(H7)
- 加治小郷土誌編さん委員会「加治小郷土誌」(H7)
- 姪良町郷土誌編さん委員会「姪良町郷土誌」(H7)
- 利分郷土誌編さん委員会「利分郷土誌」(H10)
- 年人町「年人町の郷土芸能」(H14)
- 鹿児島県教育委員会「かしま文化物事典」(H14)
- 姪良町教育委員会「姪良町の指定文化財」(H14)
- 国分「年人町」研究会「島津家久と国分・年人」(H16)
- 鹿児島県神社庁「給良市加治小郷土館ホームページ」
- 霧島市公式ホームページ
- 姪良市公式ホームページ
- 鹿児島県教育委員会文化財ホームページ
- 視覚的財源